

平成24年度  
実施事業

事務事業名	ごみステーションネット化推進事業補助金
-------	---------------------

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる
施策	2	循環型社会の構築
小分類	3	一般廃棄物の適正処理
主要な施策	1	①ごみ処理施設の適正な維持管理の推進
事務事業番号	001	事業開始年度 平成 10 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	環境対策室環境対策グループ
-----	-------	-------	---------------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	ごみステーションのネット化を促進することにより、美観、衛生、交通安全、収集効率の向上を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	<p>ごみステーション周辺の衛生環境維持、ごみ収集の効率化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に助成を行う登別市衛生団体連合会に対して、助成に要する経費の補助を行った。</p> <p>【事業内容】</p> <p>助成額 1枚につき1,300円 助成見込数 100枚</p> <p>【登別市衛生団体連合会の活動実績】</p> <p>助成町内会 17町内会 助成枚数 70枚 市補助額 70枚×1,300円=91,000円</p>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	清潔な生活環境を維持するため、ごみステーションのネット化の推進は依然必要性が高いことから、今後も引き続き町内会に助成を行う登別市衛生団体連合会に補助を行っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市廃棄物の再利用及び処理に関する条例 ごみステーション設置管理等に関する要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	134	91	130	130	130
事業費 合計			134	91	130	130	130

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 購入補助したネットの枚数	枚	目標値	120	100	100	100	100
			実績値	103	70			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
各町内会で管理しているごみステーションにおいて、周辺の衛生環境維持及びごみ収集の効率化を図るため、ごみステーションをネット化する町内会に対し、一部助成を行っている。現在は、当補助金が各町内会に浸透し、活用する町内会も増えているため、市内ごみステーションのネット化が進んでいる状況である。	各町内会へのごみステーションネット化への周知の継続及び、経年劣化等に伴うネットの更新を促すことにより、ごみステーションのネット化を継続的に普及させることができる。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市が行うごみ収集のステーションの衛生と美観向上、収集効率の向上を図るため、ネット化を推奨している。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 市では、ごみステーションのネット化を推奨しており、かつ、地域によっては、有形のごみステーションの設置が難しいため、ごみの飛散防止等に効果をあげていることから、その必要性が高い事業であると考えている。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 ごみステーションのネット化を普及することにより、美観、衛生、交通安全、収集効率の向上が図られている。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 ごみステーションのネット化への切り替えが進んでいる。

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠) ごみステーションの衛生と美観向上、収集効率の向上を図るため、ネット化を推進する。
-----------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

<b>維持</b>	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)